ＪＲ東海労ニュース

№1717
2012年 7月27日
ＪＲ東海労働組合

浜岡原発再稼働の是非を問う住民投票条例直接請求署名が必要数の3倍!

静岡県知事・議会は県民の声を受け止めよ！

（第3種郵便物認可） 東京
2012.7.27

浜岡住民投票

署名数17万8240人

請求必要数の3倍に迫る

中部電力浜岡原発（静岡県御前崎市）の再稼働の是非を住民投票で問おうと署名を集めた市民グループ「原発県民投票静岡」は二十二日、署名数を十七万八千二百四十人と確定した。住民投票条例制定を知事に直接請求するのに必要な有権者の二十五分の一（約六万二千人）を大きく上回った。グループは二十三日、県内各市区町選管に署名簿を提出する。

共同代表の鈴木望さんは「特定の組織に頼った活動ではない中、予想以上の署名数が集まった。多くの県民が原発について意思表示したいのだと思う。県議会や知事には私たちの声を政治に生かしてほしい」と話した。

各選管は二十日以内に、署名が選挙人名簿と合致するかどうかなどを審査。必要数が確保されれば、代表者が川勝平太知事に条例制定を直接請求する。知事は二十日以内に意見を添え、県議会に条例案を提出する。直接請求は早くて八月下旬ごろで、条例案の審議は県議会九月定例会となる可能性が高い。

マスコミは、中部電力・浜岡原子力発電所の再稼働の是非を住民投票で問おうと市民グループ「原発県民投票静岡」が集めた署名数が、住民投票条例を知事に直接請求できる必要数の３倍に迫る18万余の数に上ったことを伝えています。署名集めをリードした「原発県民投票静岡」は「予想以上の署名が集まった」と評価しています。また「県民投票によって、県民の意思表示を明確にし、（静岡）県政に反映させねばならない」とコメントしています。

浜岡原発は、菅首相（当時）が日本で最も危険といわれる原発をいったん止めて稼働の是非を考えようと、中部電力に稼働停止を要請し現在も稼働を停止しています。浜岡原発が停止している今日まで、静岡県民が考えた結果「直接、浜岡原発の再稼働の是非について意思表示をさせろ」という意見が署名数に表れたといえるのではないでしょうか。ちなみに、静岡県の川勝平太知事は2012年２月24日「ウラン燃料によるなら現時点では99％困難」と、浜岡原発の再稼働の可能性について見解を述べています。

静岡県知事と静岡県議会は、まずは住民投票条例を成立させるべきです。浜岡原発の再稼働に関する静岡県民の意思を汲み取り、県政に活かしていくべきです。